

『左岸：京都大学映画メディア研究』投稿規定

1. 投稿資格：原則として京都大学映画メディア合同研究室の在籍者（学生、常勤・非常勤の教職員）および卒業生。同研究室主催の院生シンポジウムの発表者も、発表内容に関連する原稿を投稿可能です。
2. 締切：毎年11月30日（日本時間24:00）
3. 提出先：『左岸』編集委員会 Email: kucms_sagan@googlegroups.com
4. 原稿の種類：広義の映画メディア研究に資する研究論文、研究ノート、書評、および翻訳（英語から日本語、もしくは日本語から英語）。下記の字数は註を含みますが、引用文献一覧は含みません。未発表の完全原稿に限ります。いずれの原稿も書式は下記のスタイルシートに従って下さい。
 - ・研究論文：日本語15,000～24,000字、英語7,000～12,000語
 - ・研究ノート：日本語8,000～20,000字、英語4,000～10,000語
 - ・書評：日本語2,000～6,000字、英語1,000～3,000語
 - ・研究論文には、600字程度の日本語要旨を付けて下さい。
 - ・翻訳原稿は、原文のPDFとともに提出して下さい。
5. 採択：研究論文は査読結果をもとに編集委員会が採否を決定します。詳細は「査読要領」を参照して下さい。研究ノート、書評、翻訳については、編集委員会が採否を決定します。
6. 著作権：『左岸』に掲載された論文等の著作権は著者に帰属します。ただし、著者は掲載論文等を京都大学映画メディア合同研究室ホームページ、および京都大学学術情報リポジトリで電子公開することを許諾するものとし、転載する際には本誌の書誌情報を明記していただきます。

[スタイルシート]

1. 『左岸』はヨコ組みとなりますので、原則としてMS Wordを使い、横書きで提出して下さい。
2. 章内は、節、項の2段階までの見出しとしてください。
3. 注釈と文献参照については、Wordの脚注機能を使い、下記の「註（短縮版）」の形式で出典を示し、巻末に引用文献一覧を付して下さい。註は可能な限り文末に付けることを原則とします。文献表記については末尾の見本をご参照下さい。引用文献一覧は、著者の姓のアルファベット順として下さい。

4. 映像作品のスクリーンショット（もしくはコマ焼き）としての使用は、著作権法第32条の「引用」と見なされる場合に限ります。「引用」を構成する条件については、以下を参照して下さい。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

5. 文体については、「だ／である」調でご執筆ください。
6. 日本語文中の数字については、原則として半角算用数字を用いて下さい（例：第1に；1950年3月15日公開；862,450,300人）。ただし、映画・書籍のタイトルなどの固有名詞や、漢字が慣用として定着している場合を除きます（例：『黒い十人の女』；三顧の礼で迎える）。英語文中の数字については、Chicago Manual of Styleに準じて下さい。
7. 引用には一重鉤括弧を使用します。ただし、引用が5行を超える場合には、前後を1行空け、全角2文字分頭下げ（インデント）し、カッコはつけません。鉤括弧内の鉤括弧（例：「「サバルタンが語れない」という意味は」）は半角鉤括弧（小カギ）とします。
8. 映像作品のタイトルについては、日本映像学会機関誌『映像学』スタイル・シート（2021年3月21日版）の項目I-7を参照して下さい。

https://jasias.jp/wp-content/uploads/2020/03/stylesheet_2020_2.pdf

9. 【文献参照の見本】

■和文文献

- ・単著（頁を特定する場合）

丸山眞男『日本の思想』岩波新書、1961年、13頁

註（短縮版）：丸山『日本の思想』、13頁

- ・共著／編著

佐倉統編『人と「機械」をつなぐデザイン』東京大学出版会、2015年

丹羽美之／吉見俊哉編『記録映画アーカイブ1 岩波映画の1億フレーム』東京大学出版会、2012年

- ・翻訳書

ジェフリー・バッチェン『写真のアルケオロジー』前川修／佐藤守弘／岩城覚久訳、青弓社、2010年

註（短縮版）：バッチェン『写真のアルケオロジー』

- ・書籍所収論文

土本典昭「私論・ドキュメンタリー映画の三〇年」、今村昌平ほか編『講座日本映画7 日本映画の現在』岩波書店、1988年、248-70頁

註（短縮版）：土本「私論」

- ・雑誌掲載論文

直江清隆「行為の形としての技術」『思想』2001年7月号、11-20頁

前川修「写真イメージの人類学——ベルティンクの写真論」『立命館言語文化研究』第24巻第4号、2016年、50頁

註（短縮版）：前川「写真イメージの人類学」、50頁

・前掲

丸山、前掲、23頁

・同上

同書、105頁

同論文、55頁

■ 欧文文献→シカゴ方式に則ります。以下のサイトもご参照下さい。

https://www.chicagomanualofstyle.org/tools_citationguide/citation-guide-1.html

・単著

一般の註（引用・言及の部分特定する場合）：

Kendall Walton, *Marvelous Images: On Values and the Arts* (Oxford: Oxford University Press, 2008), 54-55.

註（短縮版、引用・言及の部分特定する場合）：Walton, *Marvelous Images*, 54-55.

・共著／編著

David Bordwell and Noel Carroll, eds., *Post-Theory: Reconstructing Film Studies* (Madison: University of Wisconsin Press, 1996).

註（短縮版、論集全体を参照する場合）：Bordwell and Carroll, *Post-Theory*.

・書籍所収論文

Allan Sekula, "The Body and the Archive," in *Contest of Meaning: Critical Histories of Photography*, ed. Richard Bolton (Cambridge, Mass.: MIT Press, 1989), 250.

註（短縮版、引用・言及の部分特定する場合）：Sekula, "The Body and the Archive," 250.

・雑誌掲載論文

Michael Fried, "Barthes's Punctum," *Critical Inquiry* 31, no. 3 (Spring 2005): 539-574.

註（短縮版、論文全体を引く場合）：Fried, "Barthes's Punctum."

・前掲

Walton, *Marvelous Images*, 36-48.

・同上

Ibid., 215.

■ 引用文献一覧の例（Chicago Manual of Style の Bibliography の書式に従って下さい）

Austen, Jane. *Pride and Prejudice*. New York: Penguin Classics, 2007. Kindle.

Grazer, Brian, and Charles Fishman. *A Curious Mind: The Secret to a Bigger Life*. New York: Simon & Schuster, 2015.

Manjoo, Farhad. “Snap Makes a Bet on the Cultural Supremacy of the Camera.” *New York Times*, March 8, 2017. <https://www.nytimes.com/2017/03/08/technology/snap-makes-a-bet-on-the-cultural-supremacy-of-the-camera.html>.

前川修「写真イメージの人類学——ベルティンクの写真論」『立命館言語文化研究』第27巻第4号、2016年、12-35頁

丸山眞男『日本の思想』岩波新書、1961年

Rutz, Cynthia Lillian. “*King Lear* and Its Folktale Analogues.” PhD diss., University of Chicago, 2013.

Satterfield, Susan. “Livy and the *Pax Deum*.” *Classical Philology* 111, no. 2 (April 2016): 165–76.

Thoreau, Henry David. “Walking.” In *The Making of the American Essay*, edited by John D’Agata, 167–95. Minneapolis: Graywolf Press, 2016.

Smith, Zadie. *Swing Time*. New York: Penguin Press, 2016.

土本典昭「私論・ドキュメンタリー映画の三〇年」、今村昌平ほか編『講座日本映画7 日本映画の現在』岩波書店、1988年、248-69頁